

## 2.【敷地近傍（Ⅰ）】幌似周辺で実施したボーリング調査結果

## 2.【敷地近傍(Ⅰ)】幌似周辺で実施したボーリング調査結果

## 【調査概要】

一部修正 (H28/2/5審査会合)

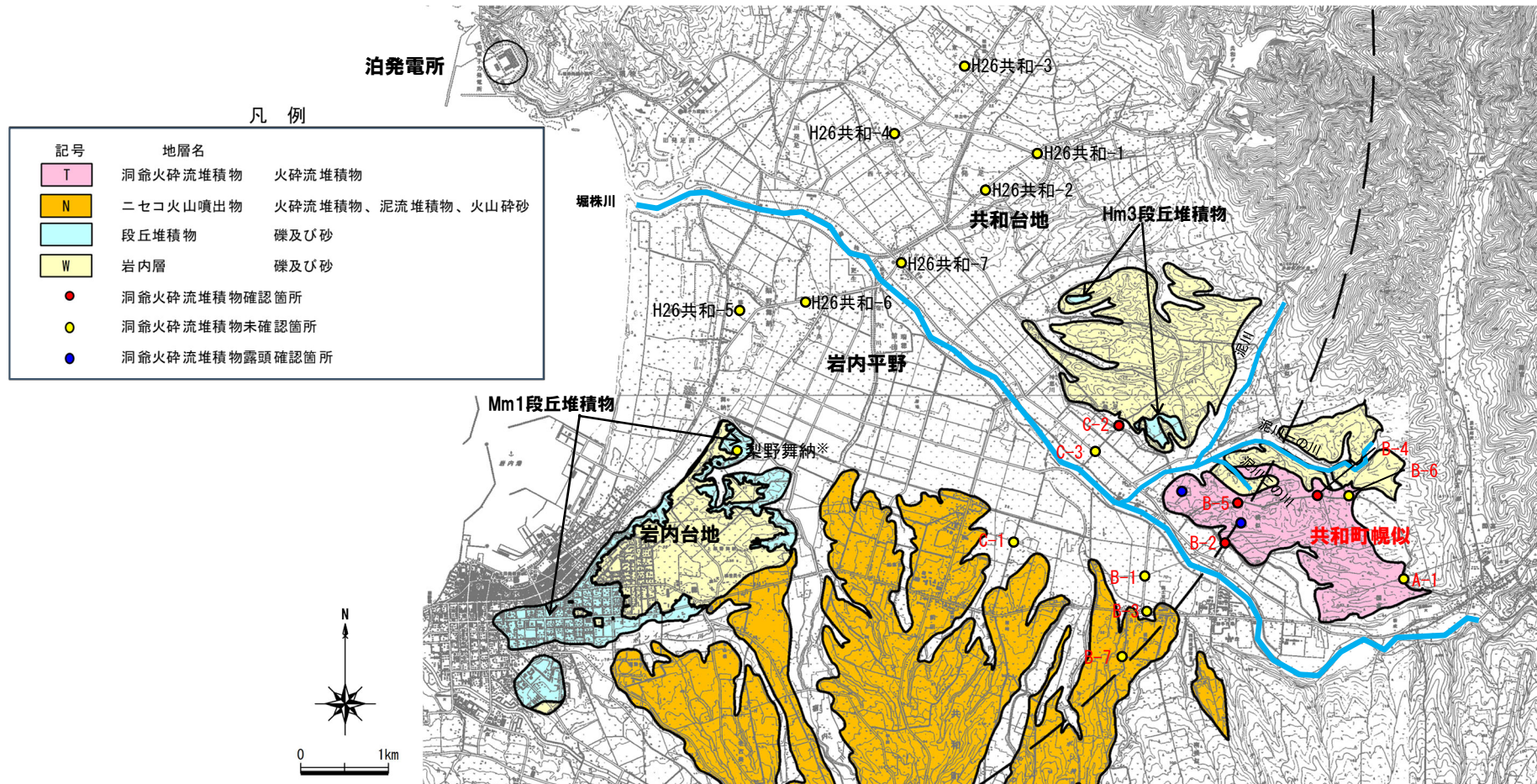
- 共和町幌似付近に認められる洞爺火砕流堆積物の分布範囲を確認するため、露頭調査に加えて、幌似周辺でボーリング調査(A-1地点、B-1～B-7地点及びC-1～C-3地点)を実施した。
- ボーリング調査位置及びボーリング調査結果は、次頁及び下表のとおり。
- B-4、B-5及びC-2地点において、軽石混じり火山灰の層相を呈する洞爺火砕流堆積物が認められ、最大層厚は、B-5地点における22mである。

ボーリング調査結果

ボーリング 孔番	孔口標高 (m)	洞爺火砕流堆積物			備考	ボーリングコア写真 及び柱状図掲載頁
		有無	上面標高 (m)	層厚 (m)		
A-1	66.8	なし	—	—	—	P78～P80
B-1	8.3	なし	—	—	—	P82～P85
B-2	17.9	あり	17.2	13.1	4.1	二次堆積物 P86～P88
B-3	13.8	なし	—	—	—	P90～P92
B-4	51.3	あり	51.2	19.9	31.3	P94～P96
B-5	45.7	あり	45.5	22.0	23.5	P98～P100
B-6	45.4	なし	—	—	—	P102～P103
B-7	32.3	なし	—	—	—	P104～P106
C-1	15.9	なし	—	—	—	P108～P110
C-2	11.9	あり	7.4	2.2	5.2	二次堆積物 P112～P114
C-3	6.2	なし	—	—	—	P116～P118

## 【調査位置図】

一部修正 (H28/2/5審査会合)



調査位置図

※梨野舞納地点で実施したボーリング調査位置と同位置において露頭を確認しており、その露頭では、火砕サージ由来か降下火砕物由来かを厳密に区分することは難しい洞爺火山灰 (Toya) の火山ガラスを多く含む堆積物を確認している。

## 2. 【敷地近傍（Ⅰ）】幌似周辺で実施したボーリング調査結果

①-1 A-1地点 (ボーリングコア写真) (1/2)

一部修正 (H28/2/5審査会合)

孔口標高:66.79m



コア写真 (深度0~15m)



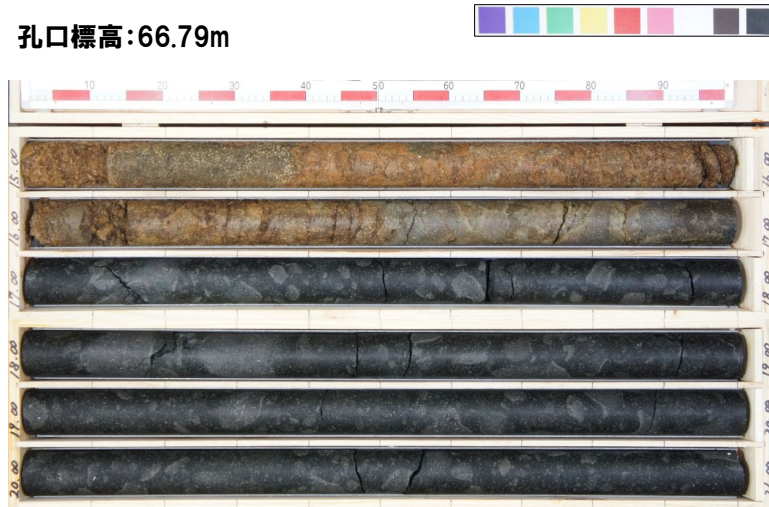
コア写真 (深度0~2m) 別孔

発足層 ←→ 古平層

## ①-1 A-1地点（ボーリングコア写真）（2/2）

一部修正（H28/2/5審査会合）

孔口標高：66.79m

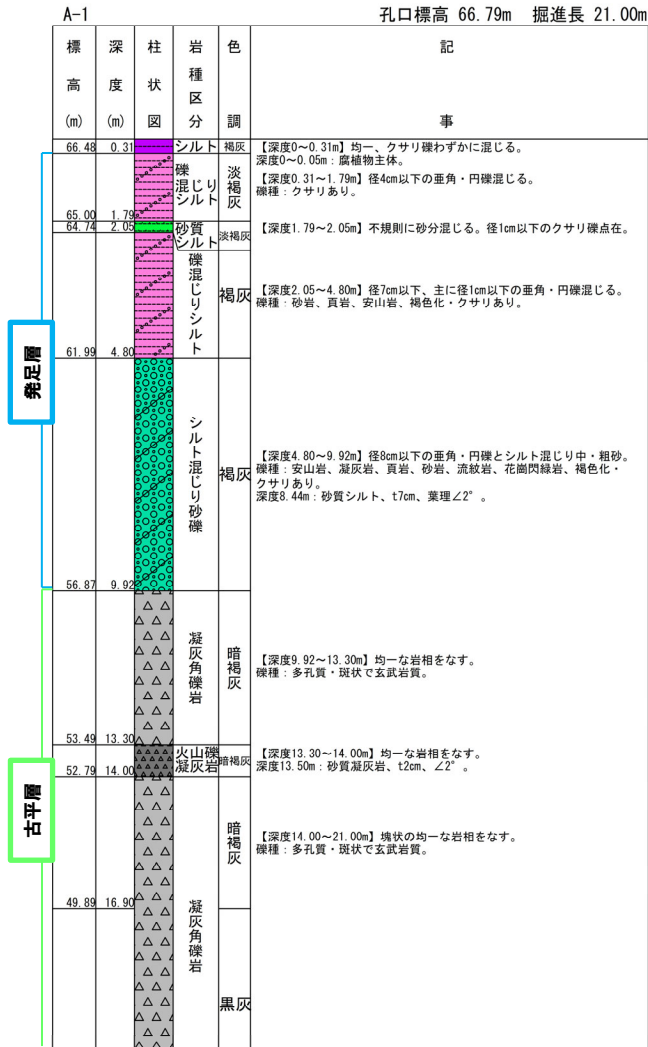


コア写真（深度15～21m）

## 2. 【敷地近傍（Ⅰ）】幌似周辺で実施したボーリング調査結果

### ①-2 A-1地点 (ボーリング柱状図)

一部修正 (H28/2/5審査会合)





ボーリング柱状図 (深度0~20m)

標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	記
45.79	21.00	△△△ △△△ △△△			

古層 (45.79m ~ 49.89m)

ボーリング柱状図 (深度20~21m)

凡例

-  シルト
-  砂質シルト
-  礫混じりシルト
-  シルト混じり砂礫
-  凝灰角礫岩
-  火山礫凝灰岩

余白

## ②-1 B-1地点（ボーリングコア写真）（1/3）

一部修正（H28/2/5審査会合）

孔口標高：8.29m



コア写真（深度0～15m）



コア写真（深度12～15m）別孔



## 2. 【敷地近傍(Ⅰ)】幌似周辺で実施したボーリング調査結果

②-1 B-1地点 (ボーリングコア写真) (2/3)

一部修正 (H28/2/5審査会合)

孔口標高:8.29m



コア写真 (深度15~30m)

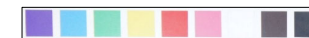
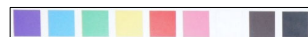


コア写真 (深度15~30m) 別孔

②-1 B-1地点 (ボーリングコア写真) (3/3)

一部修正 (H28/2/5審査会合)

孔口標高: 8.29m



コア写真 (深度30~41m)



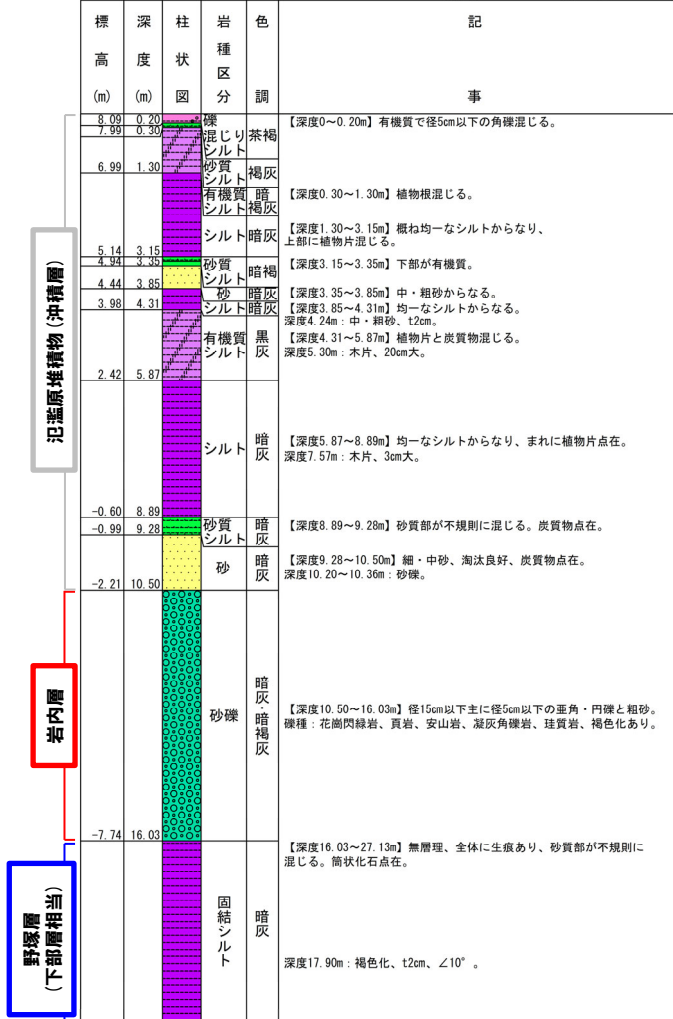
コア写真 (深度30~40m) 別孔

# 2. 【敷地近傍(Ⅰ)】幌似周辺で実施したボーリング調査結果

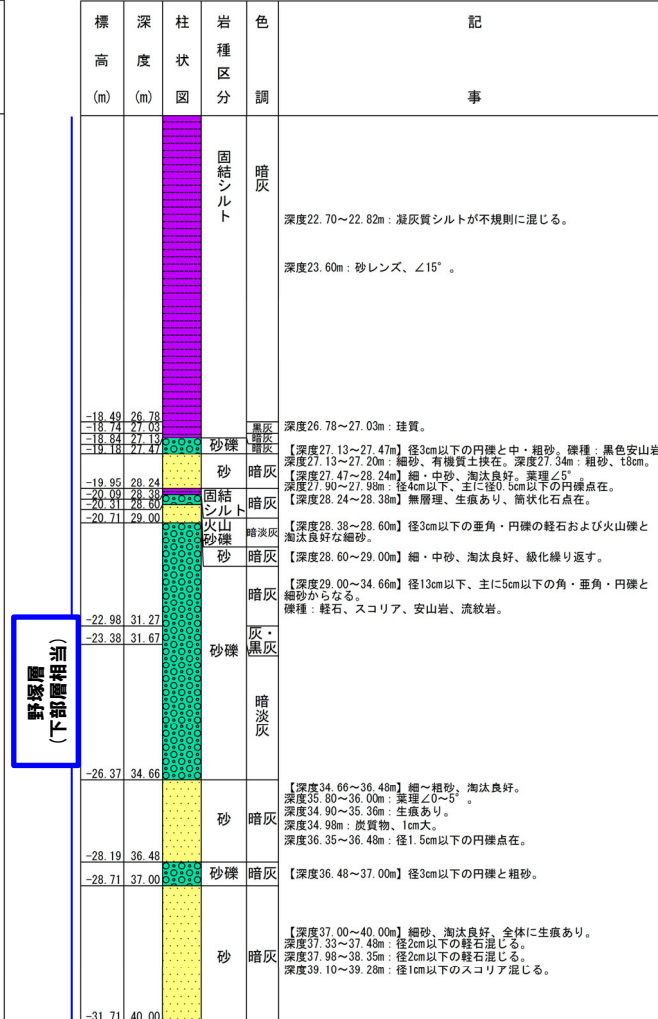
## ②-2 B-1地点 (ボーリング柱状図)

一部修正 (H28/2/5審査会合)

B-1 孔口標高 8.29m 掘進長 40.00m



ボーリング柱状図 (深度0~20m)



ボーリング柱状図 (深度20~40m)

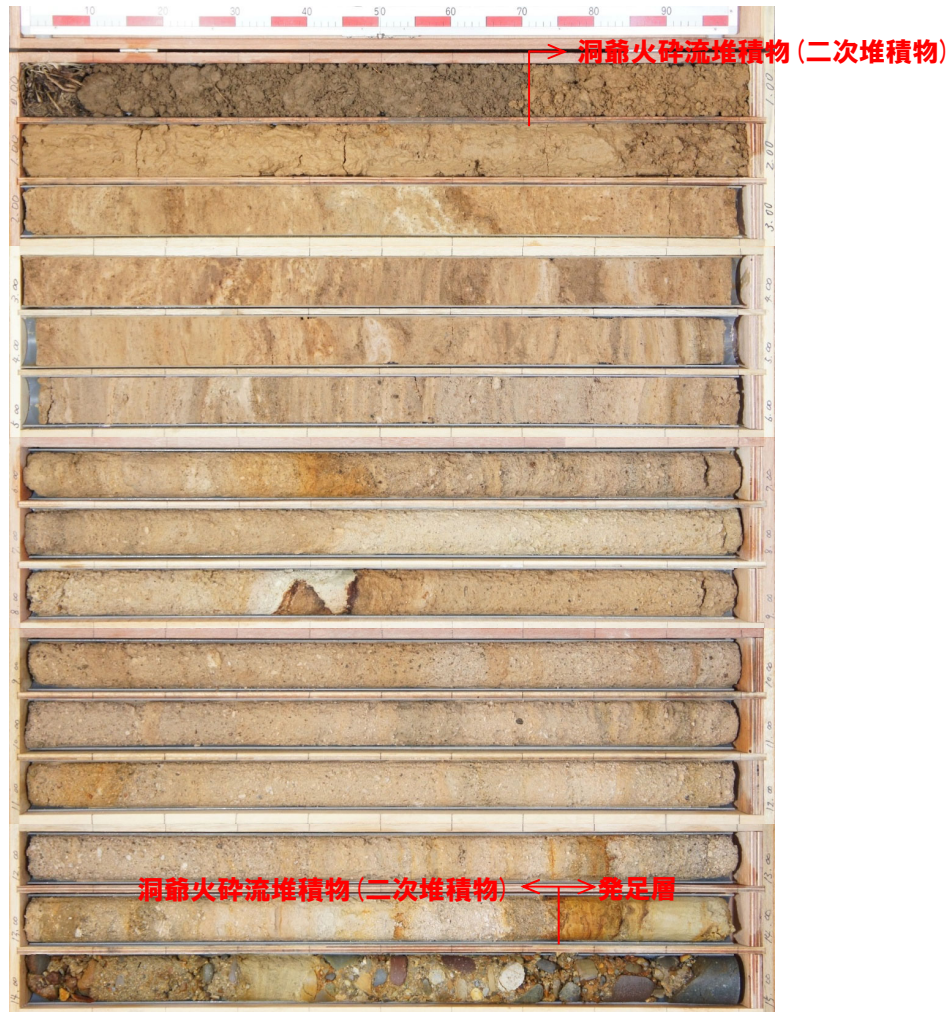
### 凡例

- シルト
- 有機質シルト
- 砂質シルト
- 礫混じりシルト
- 砂
- 砂礫
- 固結シルト
- 火山砂礫

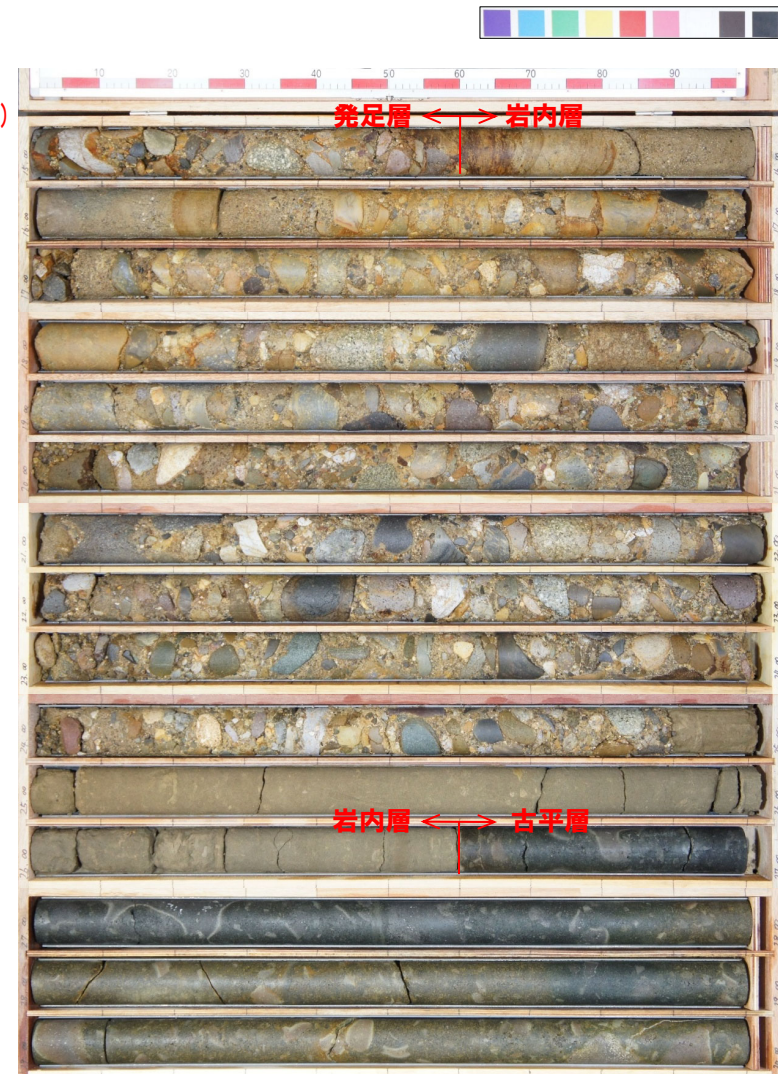
## ③-1 B-2地点 (ボーリングコア写真) (1/2)

一部修正 (H28/2/5審査会合)

孔口標高: 17.85m



コア写真(深度0~15m)

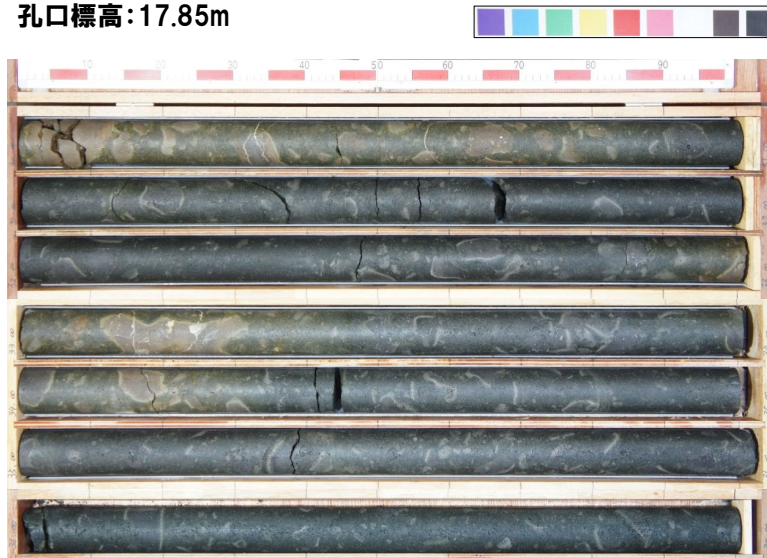


コア写真(深度15~30m)

## ③-1 B-2地点（ボーリングコア写真）（2/2）

一部修正（H28/2/5審査会合）

孔口標高：17.85m

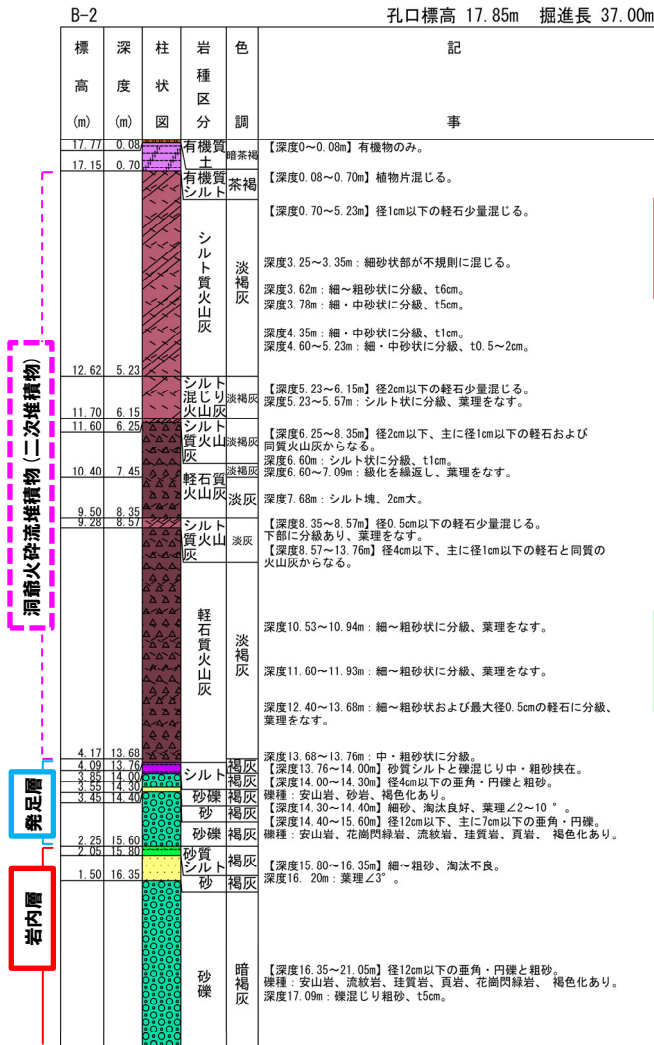


コア写真（深度30～37m）

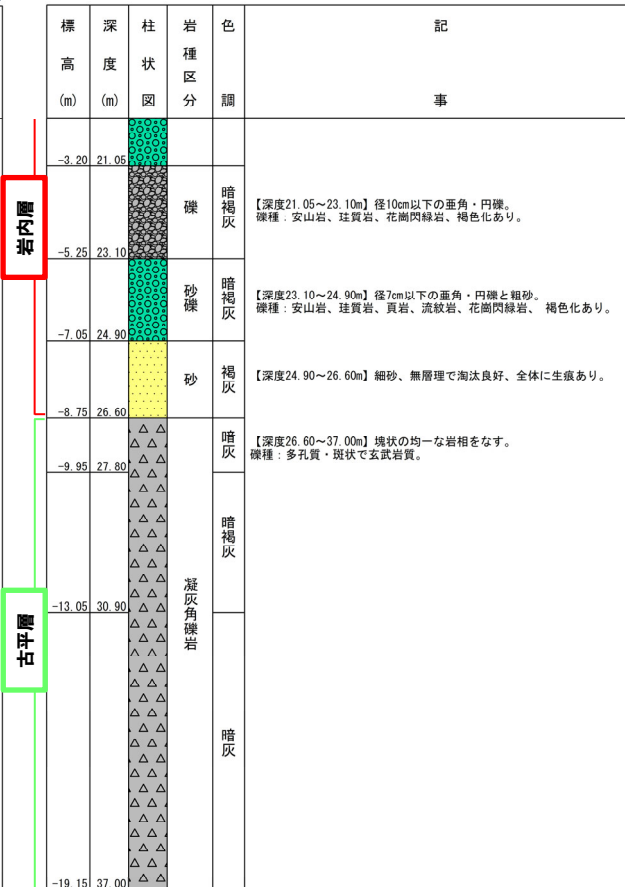
## 2.【敷地近傍(Ⅰ)】幌似周辺で実施したボーリング調査結果

### ③-2 B-2地点 (ボーリング柱状図)

一部修正 (H28/2/5審査会合)



ボーリング柱状図 (深度0~20m)



ボーリング柱状図 (深度20~37m)

凡例

- 有機質土
- シルト
- 有機質シルト
- 砂質シルト
- 砂
- シルト質火山灰
- シルト混じり火山灰
- 軽石質火山灰
- 砂礫
- 礫
- 凝灰角礫岩

余白

## 2. 【敷地近傍（Ⅰ）】幌似周辺で実施したボーリング調査結果

④-1 B-3地点 (ボーリングコア写真) (1/2)

一部修正 (H28/2/5審査会合)

孔口標高:13.74m



コア写真 (深度0~15m)



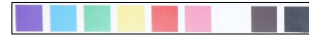
コア写真 (深度15~30m)



## ④-1 B-3地点（ボーリングコア写真）（2/2）

一部修正（H28/2/5審査会合）

孔口標高：13.74m



コア写真（深度30～40m）

## 2. 【敷地近傍(Ⅰ)】幌似周辺で実施したボーリング調査結果

### ④-2 B-3地点 (ボーリング柱状図)

一部修正 (H28/2/5審査会合)

B-3 孔口標高 13.74m 掘進長 40.00m

標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	記
12.14	1.60	礫混じり砂	褐灰		【深度0~1.60m】径10cm以下、主に径4cm以下の円礫混じる。(盛土材)
11.00	2.74	シルト質砂礫	暗灰		【深度1.60~2.74m】径7cm以下の垂角・円礫と砂質シルト、植物片点在。礫種：花崗閃緑岩、安山岩、流紋岩、砂岩、頁岩。深度2.07m：木片1cm大。
10.71	3.03	礫混じり砂	暗灰		【深度2.74~3.03m】粗砂、径0.5cm以下の垂角・円礫混じる。
10.26	3.48	軽石混じり砂	淡灰		【深度3.03~3.48m】径1cm以下の軽石と同質の細砂、植物片点在。深度3.37~3.48m：安山岩の垂角礫混じる。
9.85	3.89	シルト	淡褐灰・茶褐		【深度3.48~3.89m】径3cm以下の垂角礫点在。
7.24	6.50	礫混じり砂質シルト	淡褐灰		【深度3.89~6.50m】径7cm以下、主に径3cm以下の垂角・円礫混じる。礫種：安山岩、頁岩、珧質岩、褐色化あり。
7.11	6.63	砂礫	暗褐灰		【深度6.50~6.63m】径2cm以下の垂角・円礫。礫種：褐色化あり。
5.89	7.85	礫混じり砂質シルト	褐灰		【深度6.63~7.85m】径3cm以下、主に径1cm以下の垂角・円礫と砂質シルトおよびシルト質砂。深度7.55~7.70m：砂分多し。
5.43	8.31	砂礫	褐灰		【深度7.85~8.31m】径6cm以下の垂角・円礫と粗砂。
5.09	8.65	礫混じり砂質シルト	淡灰		【深度8.31~8.65m】径3cm以下の垂角・円礫混じる。礫種：安山岩、軽石。
4.86	8.98	砂礫	淡褐灰		【深度8.65~8.98m】径6cm以下、垂角・円礫。礫種：軽石。安山岩、珧質岩。
4.64	9.16	砂質シルト	淡灰		【深度8.98~9.16m】細砂、淘汰良好。
4.44	9.30	礫混じり砂	淡灰		【深度9.16~9.30m】径0.5cm以下の軽石少量混じる。
3.37	10.37	礫混じり砂	淡灰		【深度9.30~10.37m】細〜粗砂、径1cm以下の垂角礫混じる。深度9.40m：砂質シルト、t5cm。深度10.20m：葉理 $\angle 15^\circ$ 。
1.74	12.00	砂礫	淡褐灰		【深度10.37~12.00m】径10cm以下の垂角・円礫。礫種：安山岩、軽石、スクリア、褐色・クサリ礫。深度10.73m：細砂挟在、t1~2cm。
1.19	12.55	礫混じり砂	淡褐灰		【深度11.03m、11.42m、11.63m】細砂、t5~7cm、葉理 $\angle 5^\circ$ 。
0.63	13.11	砂礫	暗灰		【深度12.00~12.55m】径1cm以下、主に径0.5cm以下の垂角礫混じる。礫種：軽石、安山岩。深度12.30m：砂質シルト、t4cm、葉理 $\angle 10^\circ$ 。
-0.01	13.75	礫混じり砂質シルト	暗灰		【深度12.55~13.11m】径3cm以下の角・垂角礫。礫種：安山岩。
-0.41	14.15	砂礫	暗灰		【深度13.11~13.75m】径3cm以下、主に径1cm以下の垂角・円礫混じる。礫種：安山岩、軽石。深度13.20m：木片、8cm大。
-2.36	16.10	礫	暗褐灰		【深度13.75~14.15m】シルト分主体。【深度14.15~16.10m】径7cm、主に径3cm以下の垂角・円礫と粗砂。礫種：安山岩、流紋岩、頁岩、凝灰岩。
-5.66	19.40	砂礫	暗褐灰		【深度16.10~19.40m】径13cm以下、主に径7cm以下の垂角・円礫と粗砂。礫種：砂岩、安山岩、頁岩、凝灰岩、流紋岩、珧質岩、褐色化・クサリあり。

ボーリング柱状図 (深度0~20m)

標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	記
-7.80	21.54	固結シルト	淡褐灰		【深度19.40~21.54m】無層理、生痕あり。深度19.40~20.45m：葉理 $\angle 10^\circ$ 。
-7.86	21.60	礫混じり砂	暗灰		【深度21.54~21.60m】径1.5cm、主に径0.5cm以下の垂角礫と粗砂。礫種：軽石、安山岩。
					【深度21.60~40.00m】塊状無層理の均一な岩相をなし、生痕あり、筒状化石点在。
-26.26	40.00		泥岩	暗灰	深度25.95~40.00m：生痕あり。

ボーリング柱状図 (深度20~40m)

- 凡例
- シルト
  - 砂質シルト
  - 礫混じり砂質シルト
  - 砂
  - 軽石混じり砂
  - 礫混じり砂
  - シルト質砂礫
  - 砂礫
  - 礫
  - 固結シルト
  - 泥岩

余白

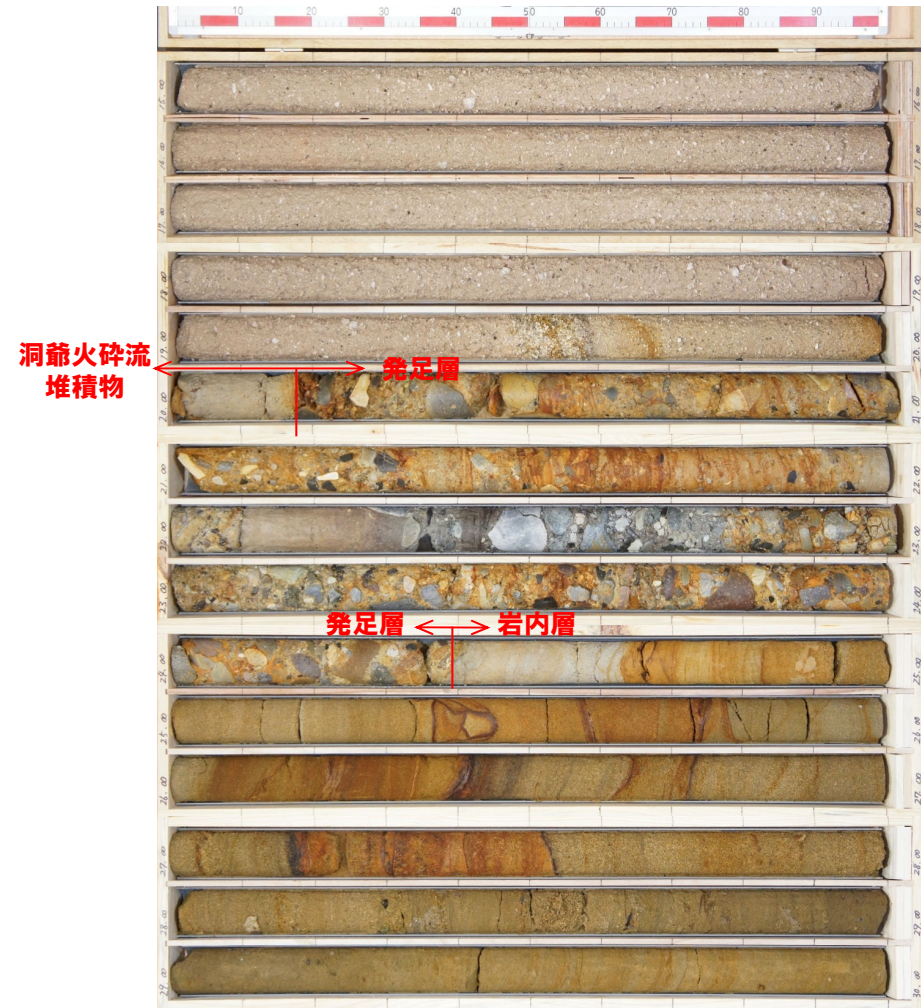
## ⑤-1 B-4地点（ボーリングコア写真）（1/2）

一部修正（H28/2/5審査会合）

孔口標高:51.27m



コア写真（深度0～15m）



コア写真（深度15～30m）

## ⑤-1 B-4地点（ボーリングコア写真）（2/2）

一部修正（H28/2/5審査会合）

孔口標高:51.27m



コア写真（深度30～45m）



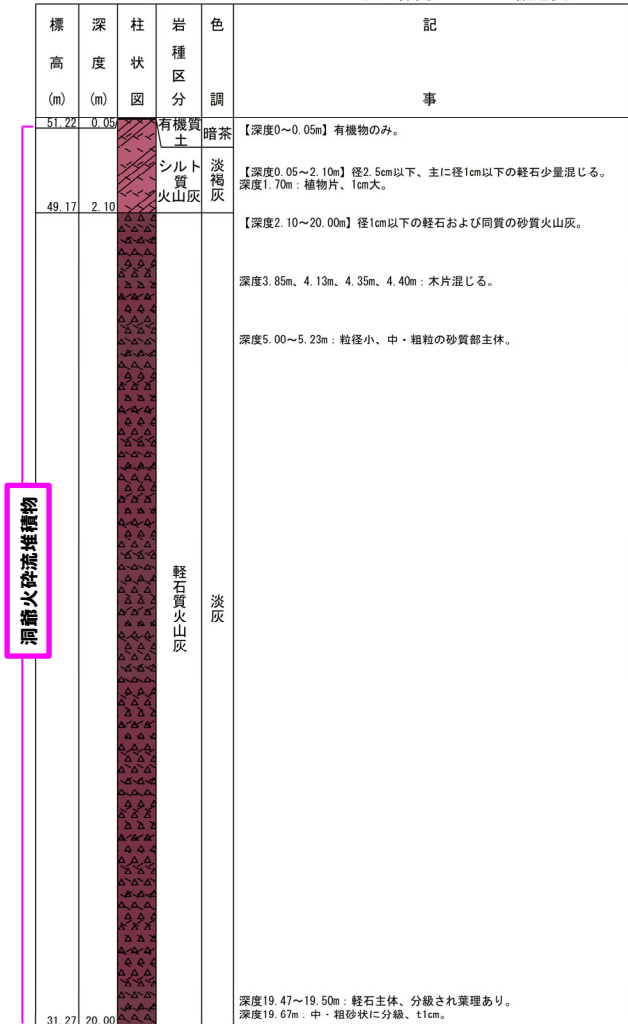
コア写真（深度45～55m）

# 2. 【敷地近傍(Ⅰ)】幌似周辺で実施したボーリング調査結果

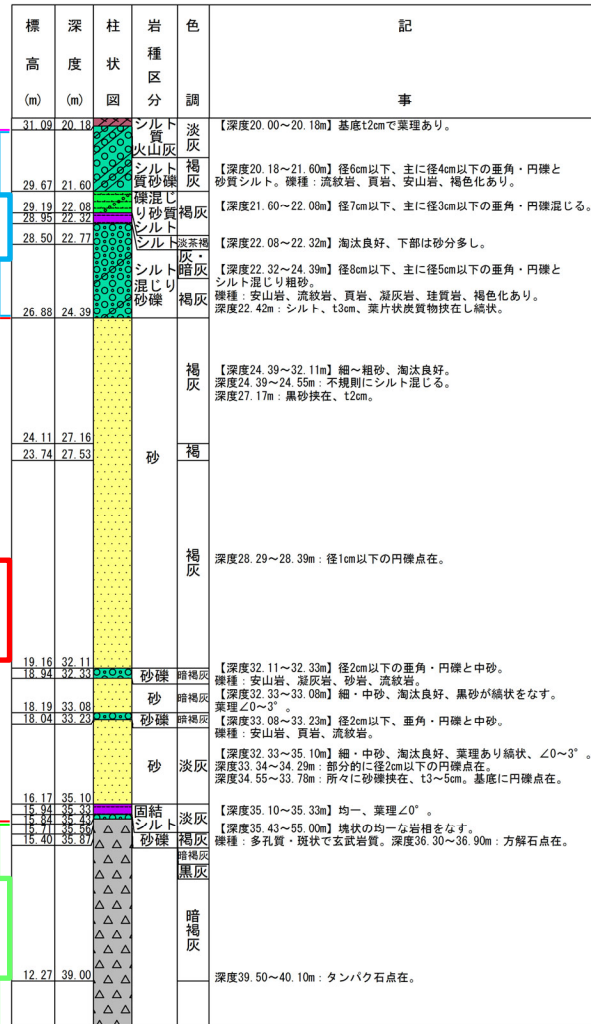
## ⑤-2 B-4地点 (ボーリング柱状図)

一部修正 (H28/2/5審査会合)

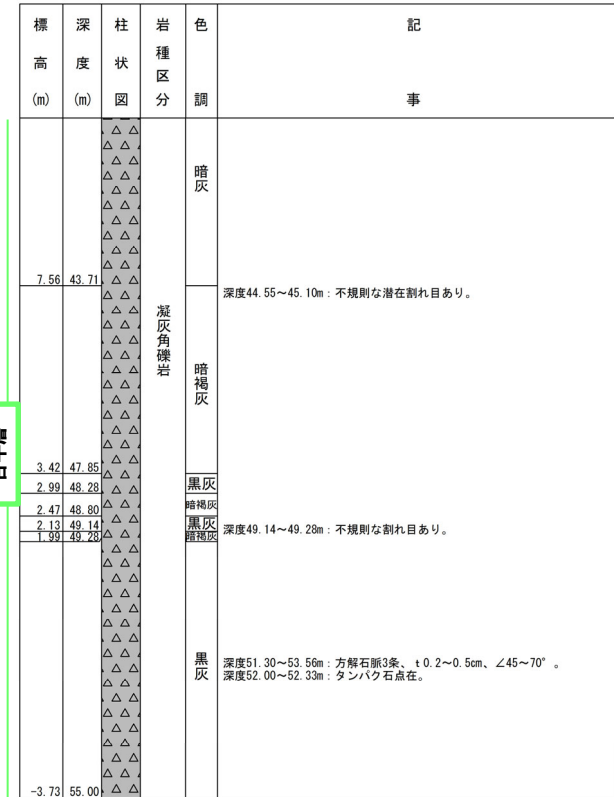
B-4 孔口標高 51.27m 掘進長 55.00m



ボーリング柱状図 (深度0~20m)



ボーリング柱状図 (深度20~40m)



ボーリング柱状図 (深度40~55m)

### 凡例

- 有機質土
- シルト
- 礫混じり砂質シルト
- 砂
- シルト質火山灰
- 軽石質火山灰
- シルト質砂礫
- シルト混じり砂礫
- 砂礫
- 固結シルト
- 凝灰角礫岩

余白

## ⑥-1 B-5地点（ボーリングコア写真）（1/2）

一部修正（H28/2/5審査会合）

孔口標高：45.74m



コア写真（深度0～15m）



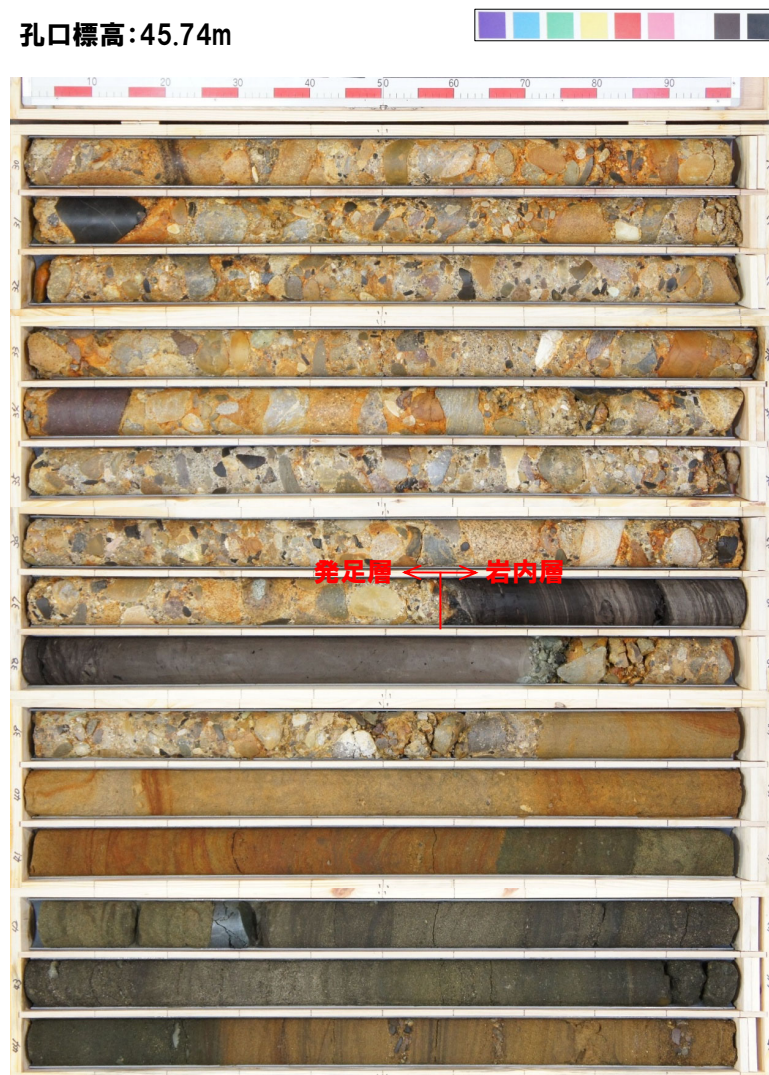
コア写真（深度15～30m）



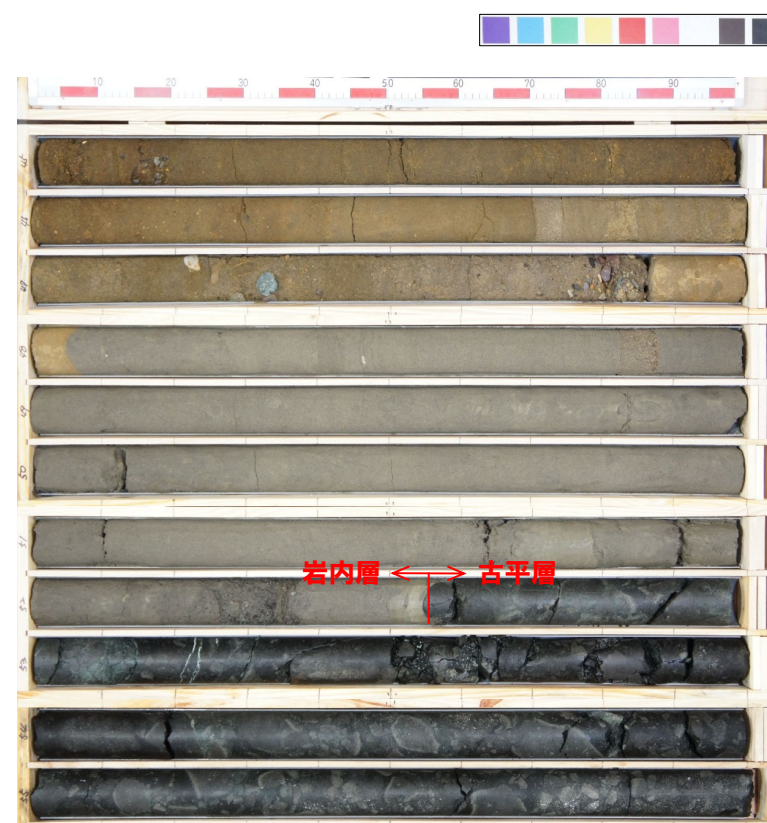
## ⑥-1 B-5地点（ボーリングコア写真）（2/2）

一部修正（H28/2/5審査会合）

孔口標高：45.74m



コア写真（深度30～45m）



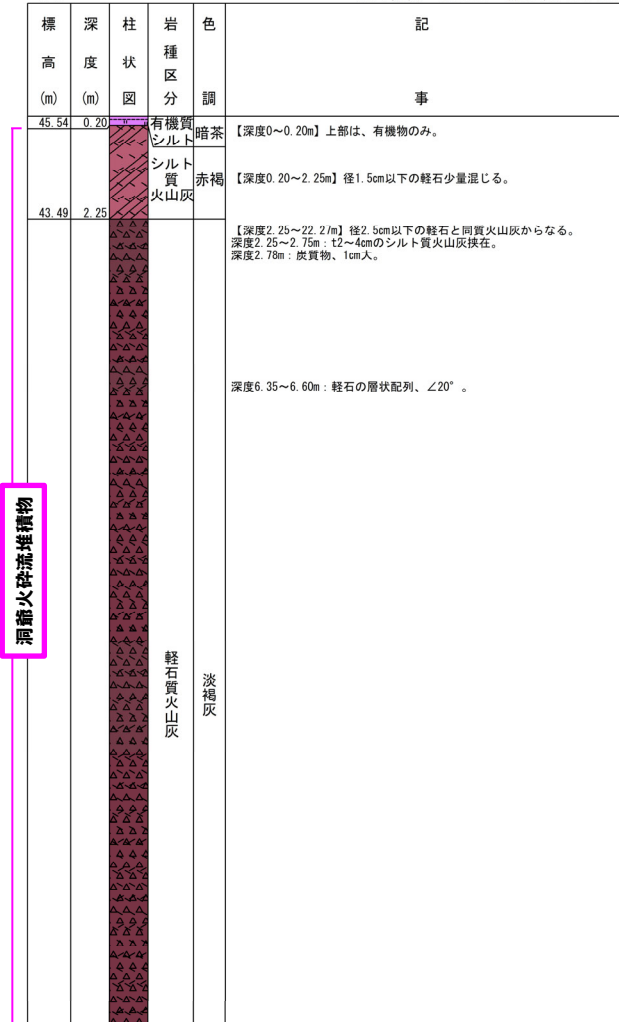
コア写真（深度45～56m）

# 2.【敷地近傍(Ⅰ)】幌似周辺で実施したボーリング調査結果

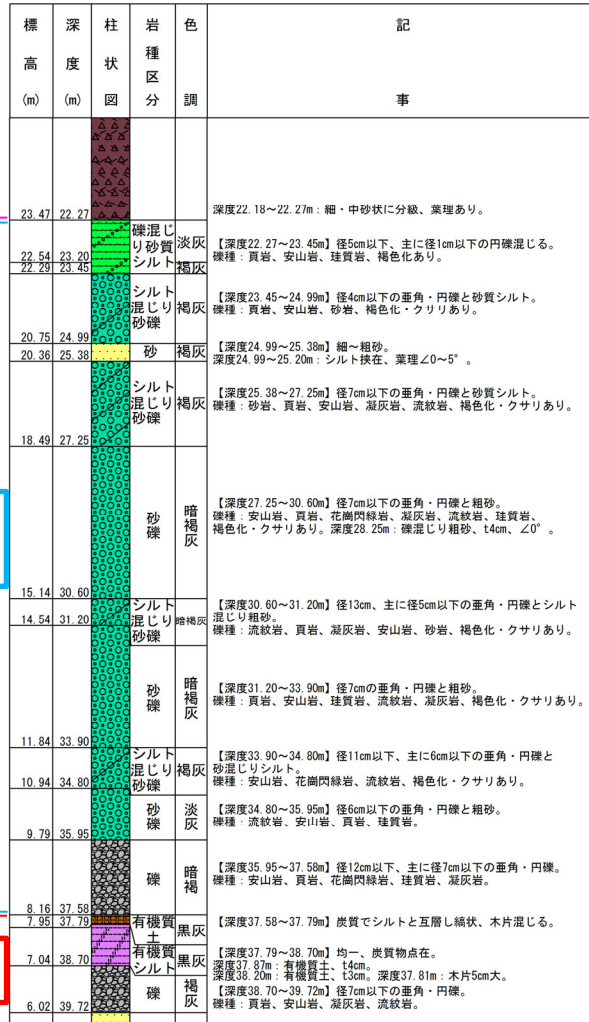
## ⑥-2 B-5地点 (ボーリング柱状図)

一部修正 (H28/2/5審査会合)

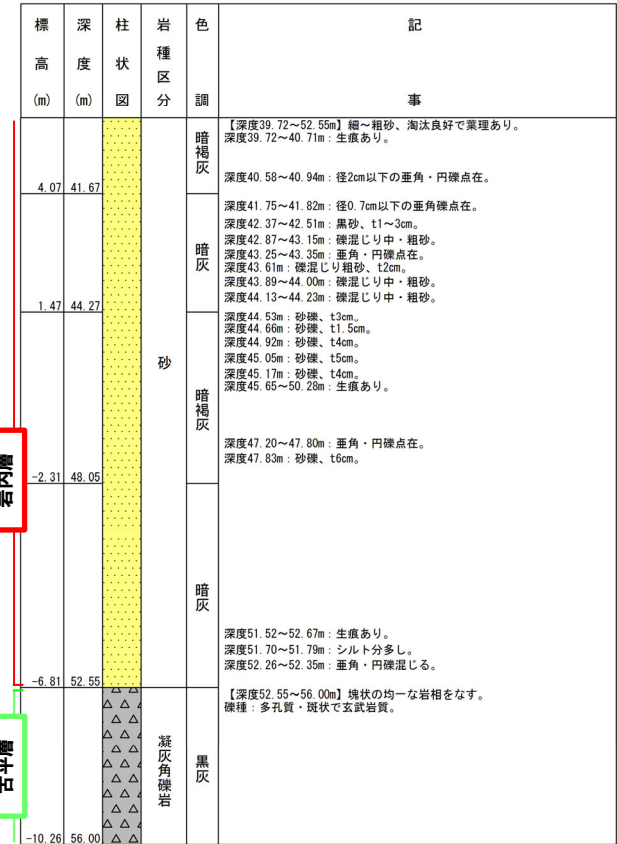
B-5 孔口標高 45.74m 掘進長 56.00m



ボーリング柱状図 (深度0~20m)



ボーリング柱状図 (深度20~40m)



ボーリング柱状図 (深度40~56m)

### 凡例

- 有機質土
- 有機質シルト
- 礫混じり砂質シルト
- 砂
- シルト質火山灰
- 軽石質火山灰
- シルト混じり砂礫
- 砂礫
- 砂
- 凝灰角礫岩

洞窟火砕流堆積物

帯足層

内層岩

層付岩

帯内層

余白

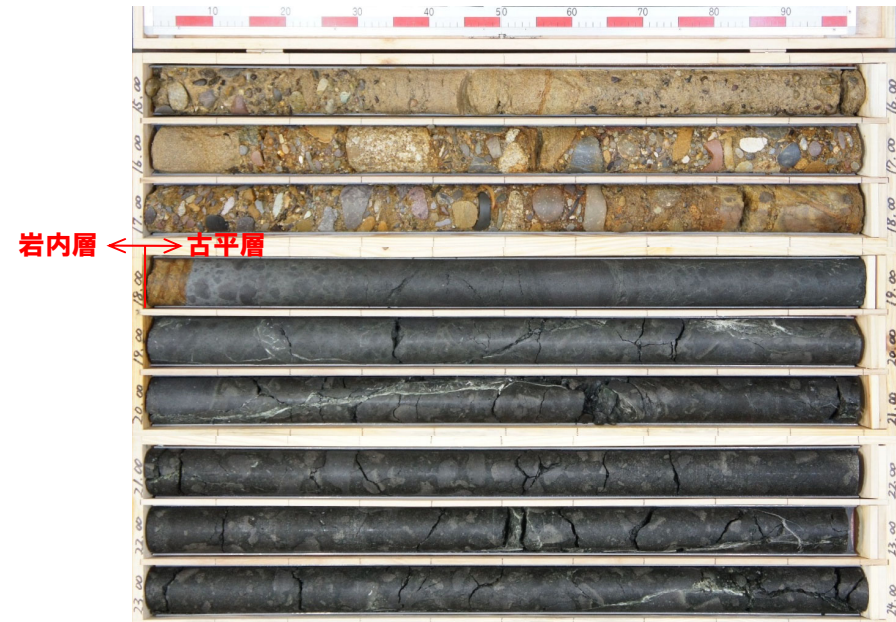
## ⑦-1 B-6地点 (ボーリングコア写真)

一部修正 (H28/2/5審査会合)

孔口標高: 45.38m



コア写真 (深度0~15m)



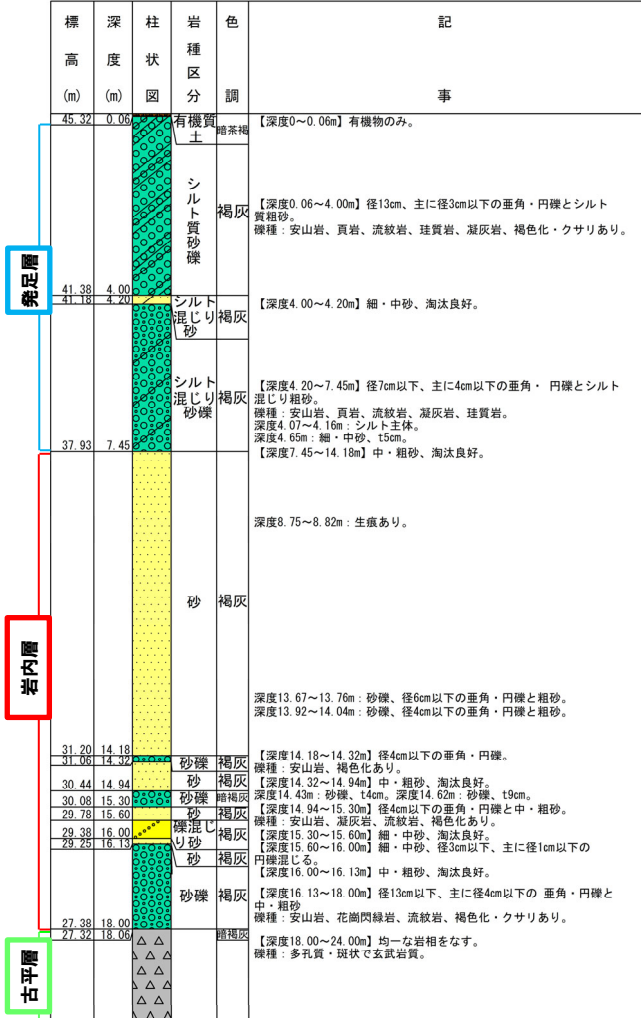
コア写真 (深度15~24m)

## 2. 【敷地近傍(Ⅰ)】幌似周辺で実施したボーリング調査結果

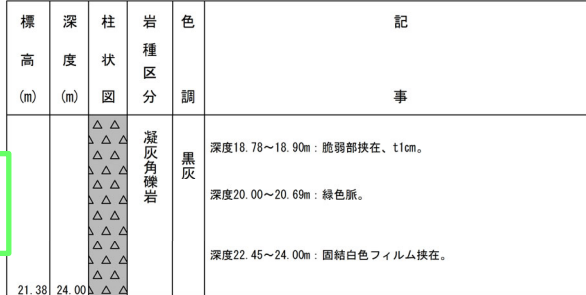
### ⑦-2 B-6地点 (ボーリング柱状図)

一部修正 (H28/2/5審査会合)

B-6 孔口標高 45.38m 掘進長 24.00m



ボーリング柱状図 (深度0~20m)



ボーリング柱状図 (深度20~24m)

凡例

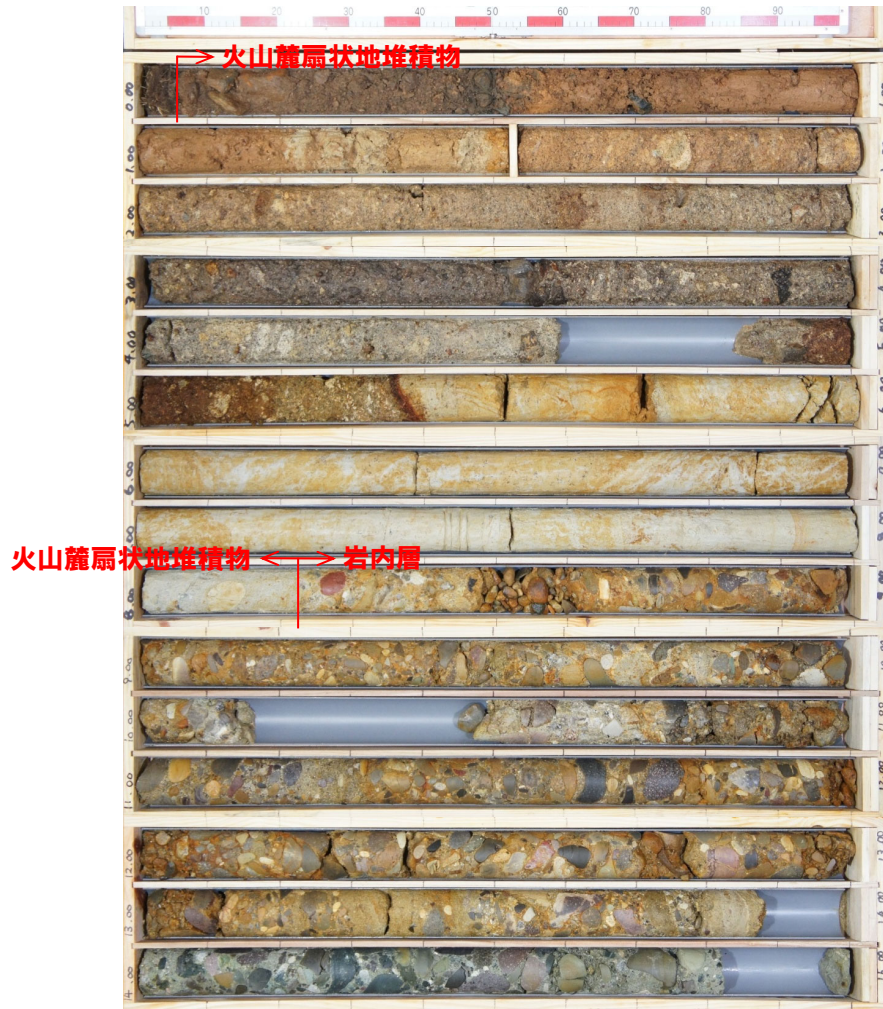
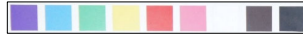
- 有機質土
- 砂
- シルト混じり砂
- 礫混じり砂
- シルト質砂礫
- シルト混じり砂礫
- 砂礫
- 凝灰角礫岩

## 2. 【敷地近傍（Ⅰ）】幌似周辺で実施したボーリング調査結果

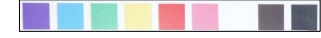
⑧-1 B-7地点 (ボーリングコア写真) (1/2)

一部修正 (H28/2/5審査会合)

孔口標高:32.32m



コア写真 (深度0~15m)



コア写真 (深度0.5~1.5m) 別孔

## 2. 【敷地近傍（Ⅰ）】幌似周辺で実施したボーリング調査結果

⑧-1 B-7地点 (ボーリングコア写真) (2/2)

一部修正 (H28/2/5審査会合)

孔口標高:32.32m



コア写真 (深度15~30m)

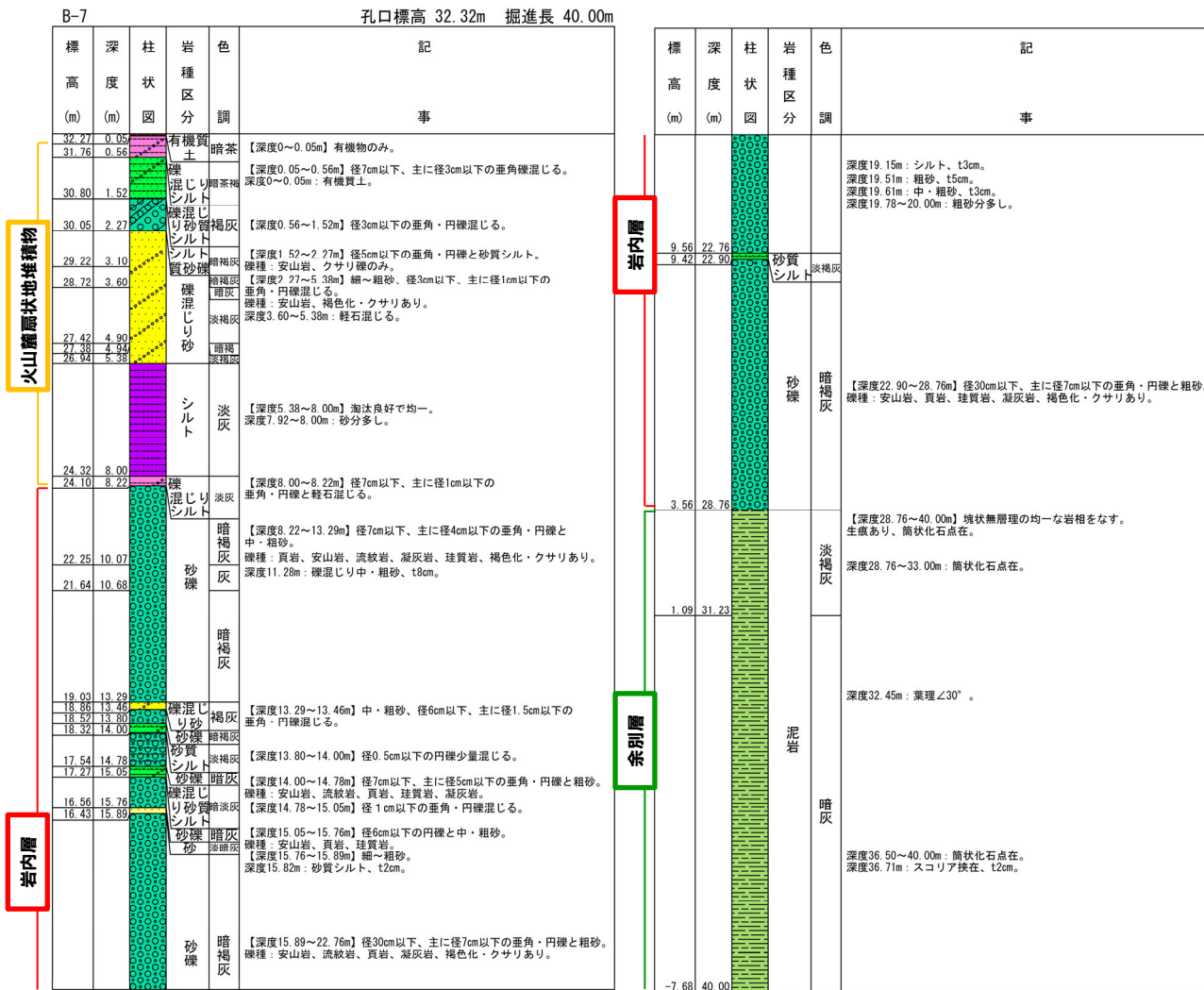


コア写真 (深度30~40m)

## 2.【敷地近傍(Ⅰ)】幌似周辺で実施したボーリング調査結果

### ⑧-2 B-7地点 (ボーリング柱状図)

一部修正 (H28/2/5審査会合)





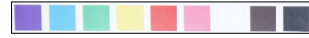
余白

## 2. 【敷地近傍（Ⅰ）】幌似周辺で実施したボーリング調査結果

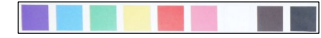
⑨-1 C-1地点 (ボーリングコア写真) (1/2)

一部修正 (H28/2/5審査会合)

孔口標高: 15.88m



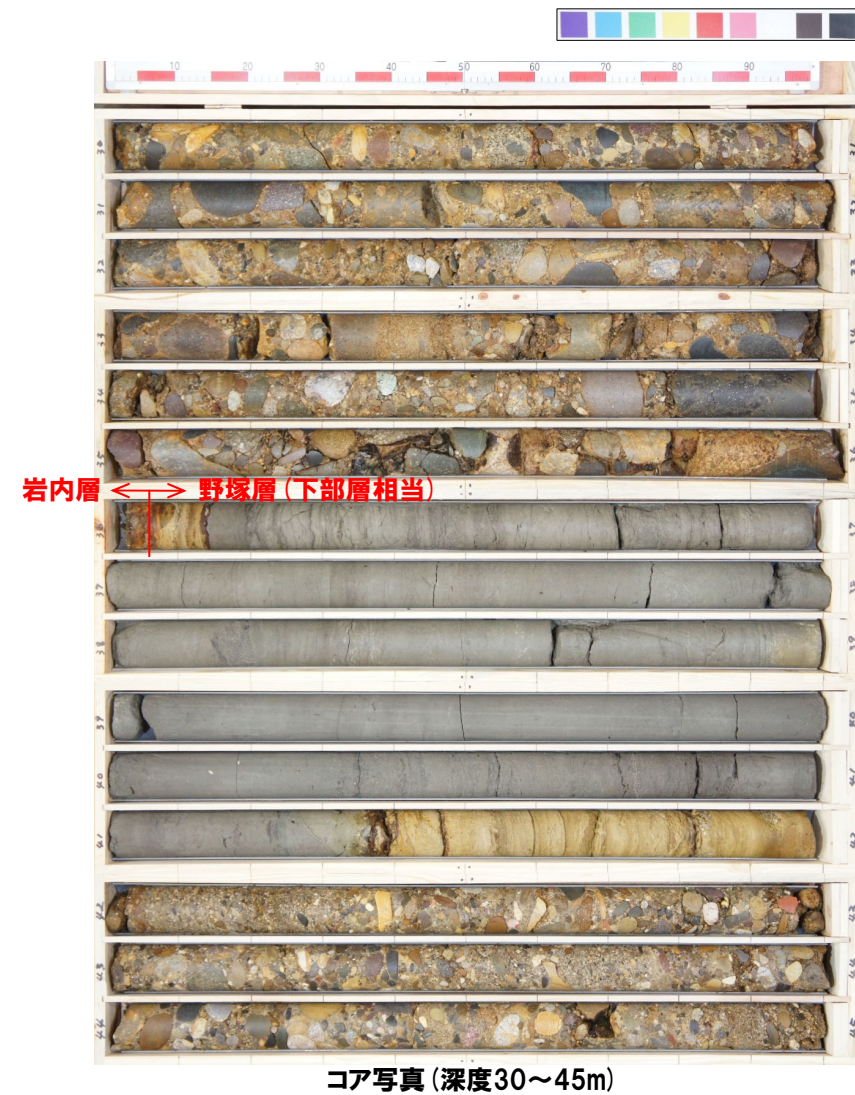
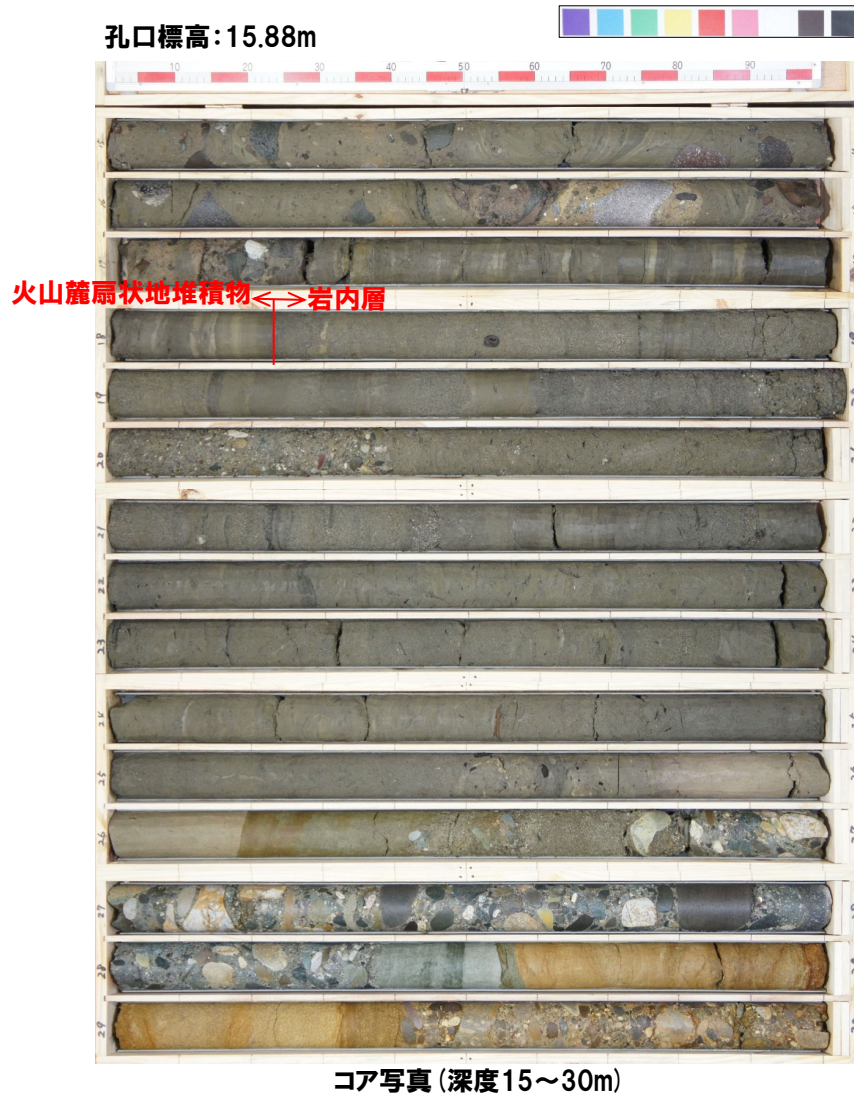
コア写真 (深度0~15m)



コア写真 (深度2~5m) 別孔

## ⑨-1 C-1地点 (ボーリングコア写真) (2/2)

一部修正 (H28/2/5審査会合)

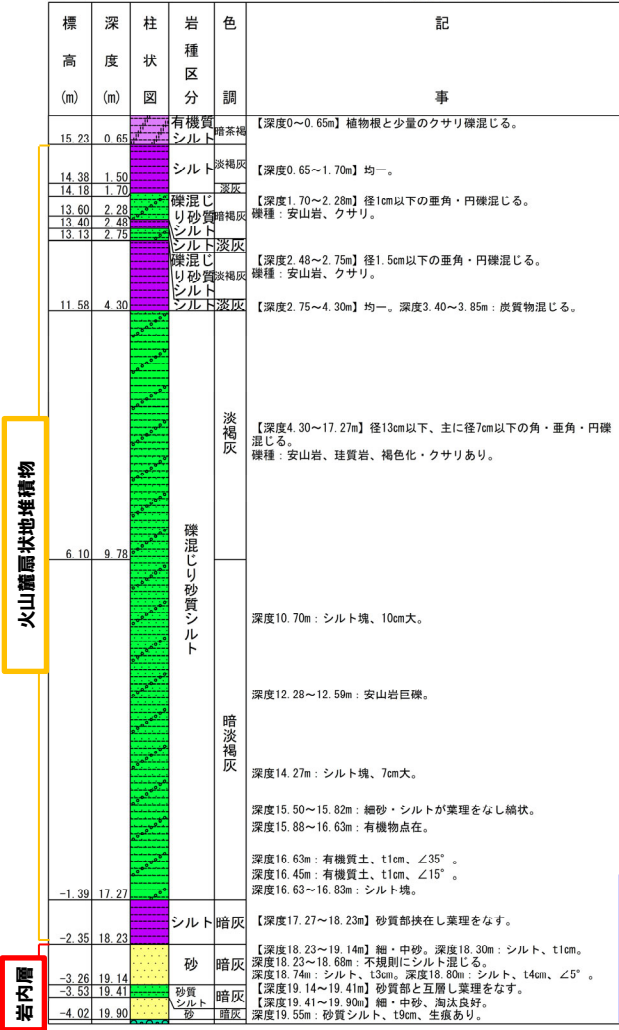


# 2. 【敷地近傍（Ⅰ）】幌似周辺で実施したボーリング調査結果

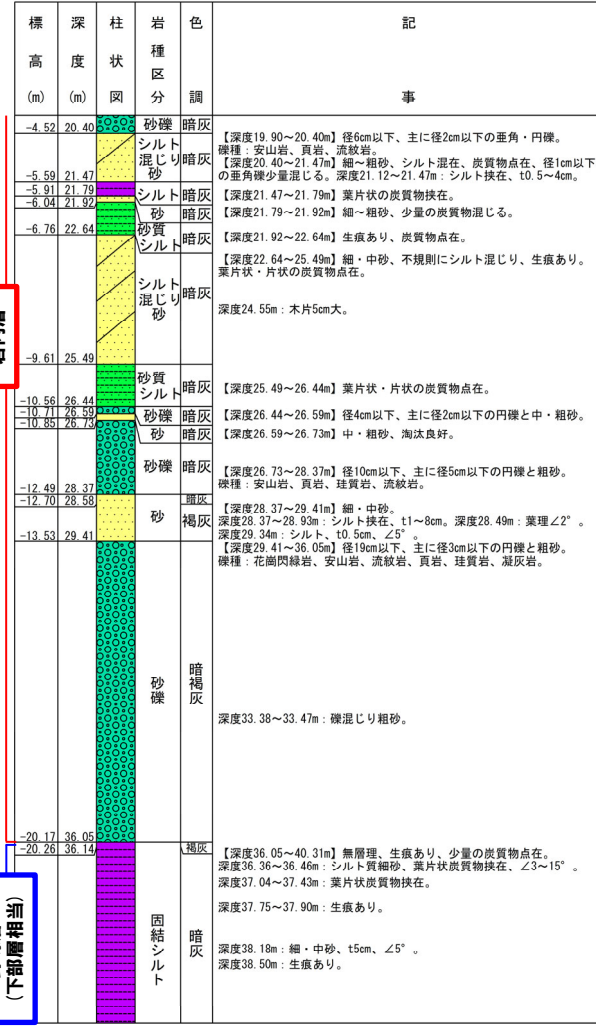
## ⑨-2 C-1地点（ボーリング柱状図）

一部修正（H28/2/5審査会合）

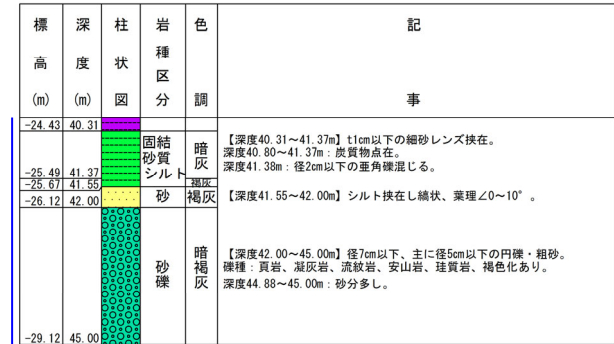
C-1 孔口標高 15.88m 掘進長 45.00m



ボーリング柱状図（深度0~20m）



ボーリング柱状図（深度20~40m）



ボーリング柱状図（深度40~45m）

凡例

- シルト
- 有機質シルト
- 砂質シルト
- 礫混じり砂質シルト
- 砂
- シルト混じり砂
- 砂礫
- 固結シルト
- 固結砂質シルト

火山礫状地堆積物

岩内層

野塚層 (下部層相当)

野塚層 (上部層相当)

余白

## 2. 【敷地近傍（Ⅰ）】幌似周辺で実施したボーリング調査結果

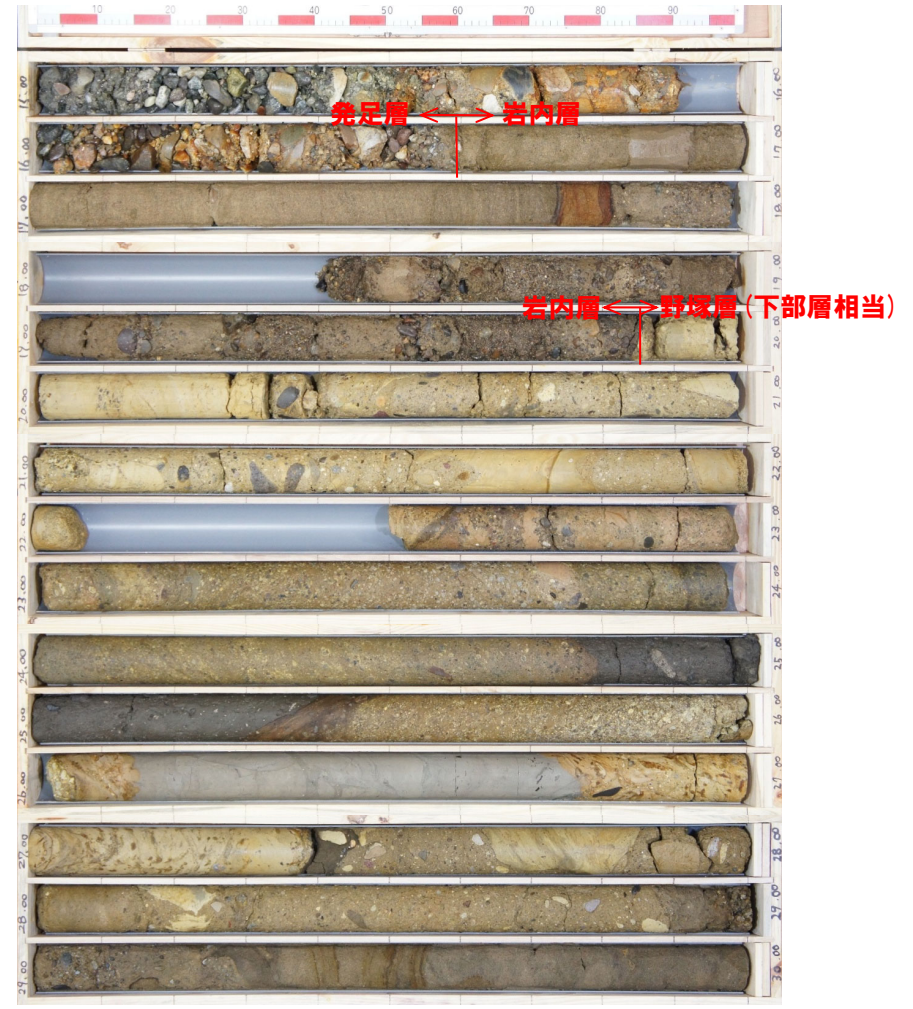
⑩-1 C-2地点 (ボーリングコア写真) (1/2)

一部修正 (H28/2/5審査会合)

孔口標高:11.87m



コア写真 (深度0~15m)

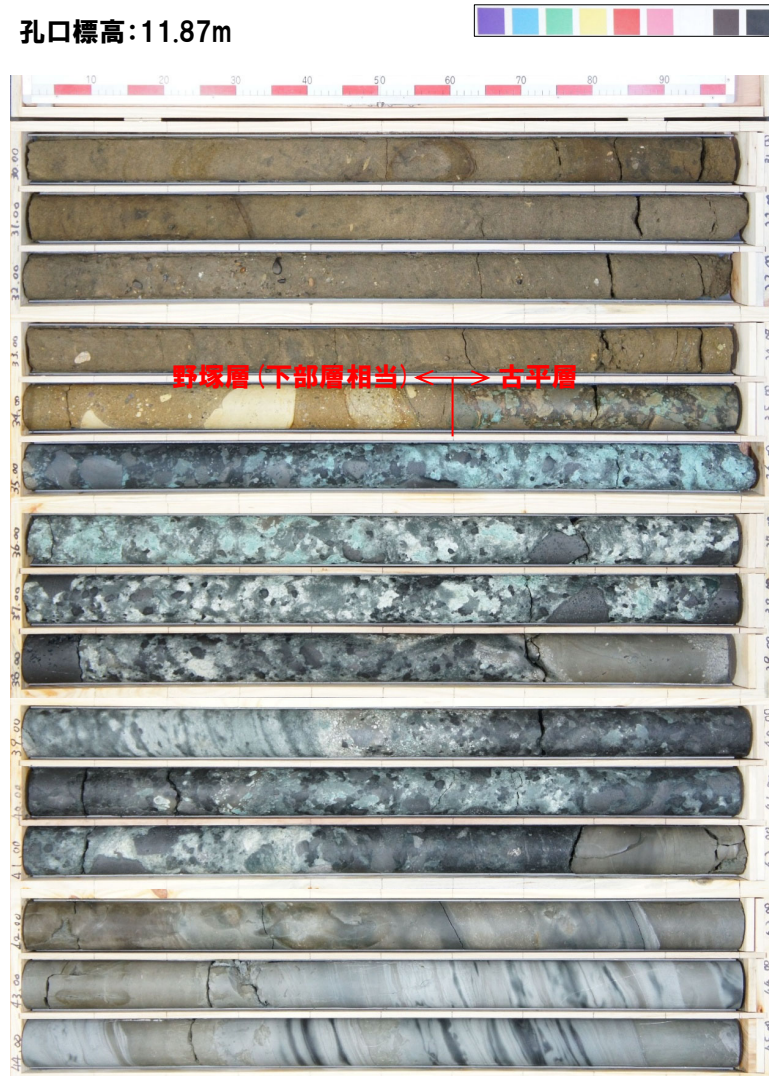


コア写真 (深度15~30m)

## ⑩-1 C-2地点（ボーリングコア写真）（2/2）

一部修正（H28/2/5審査会合）

孔口標高：11.87m



コア写真（深度30～45m）

# 2. 【敷地近傍(Ⅰ)】幌似周辺で実施したボーリング調査結果

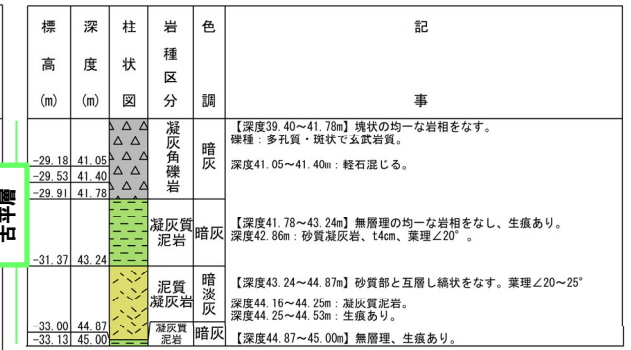
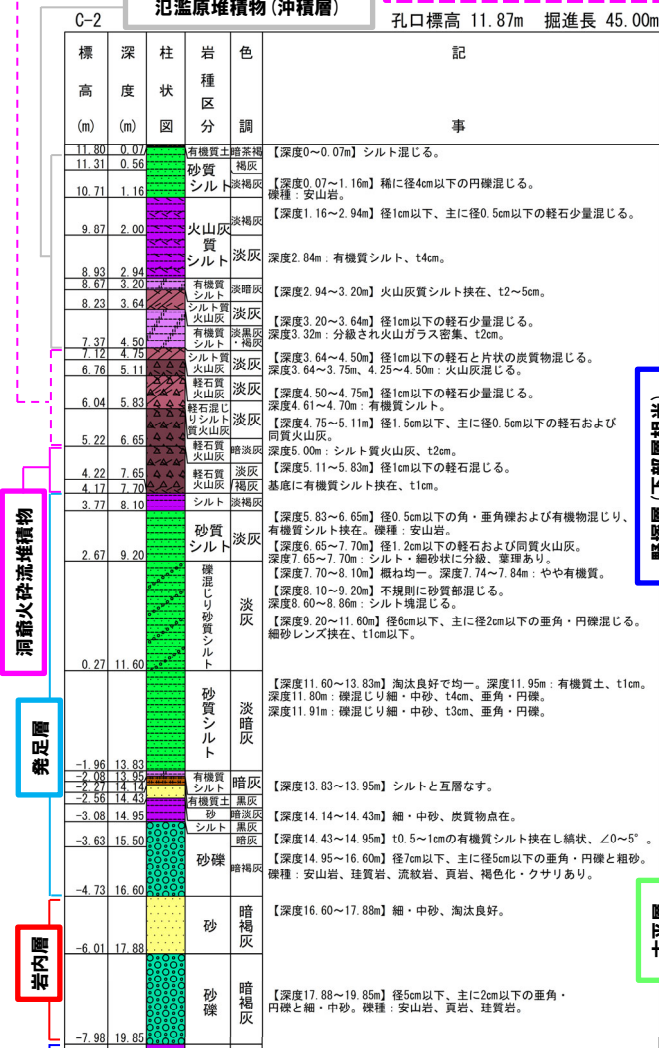
## ⑩-2 C-2地点 (ボーリング柱状図)

一部修正 (H28/2/5審査会合)

### 洞爺火砕流堆積物 (二次堆積物)

### 氾濫原堆積物 (沖積層)

孔口標高 11.87m 掘進長 45.00m



### ボーリング柱状図 (深度40~45m)

#### 凡例

- 有機質土
- シルト
- 有機質シルト
- 火山灰質シルト
- 軽石混じり砂質シルト
- 礫混じり砂質シルト
- 礫混じりシルト質砂
- 軽石混じり砂
- 礫混じり砂
- シルト質火山灰
- 軽石混じりシルト質火山灰
- 軽石質火山灰
- シルト質砂礫
- 砂礫
- 凝灰角礫岩
- 固結シルト
- 泥岩
- 凝灰質泥岩
- 砂質凝灰岩
- 泥質凝灰岩
- 砂質凝灰岩
- 軽石凝灰岩
- 砂

ボーリング柱状図 (深度0~20m)

ボーリング柱状図 (深度20~40m)

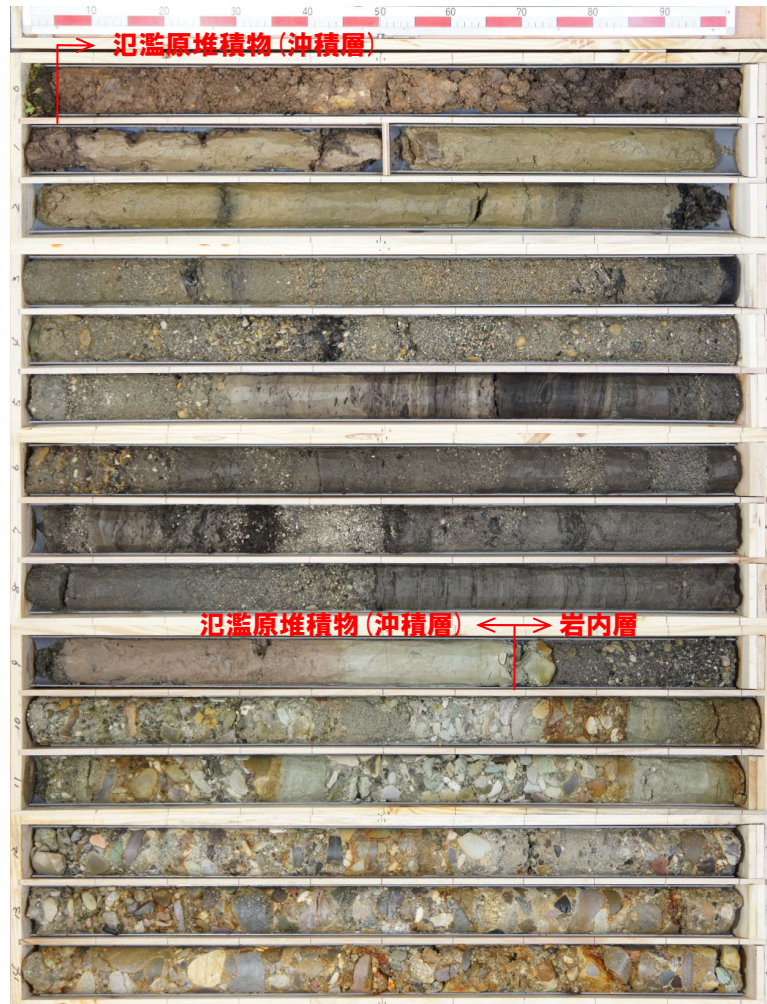


余白

## ⑪-1 C-3地点 (ボーリングコア写真) (1/2)

一部修正 (H28/2/5審査会合)

孔口標高:6.23m



コア写真(深度0~15m)



コア写真(深度15~30m)

## ⑪-1 C-3地点（ボーリングコア写真）（2/2）

一部修正（H28/2/5審査会合）

孔口標高：6.23m



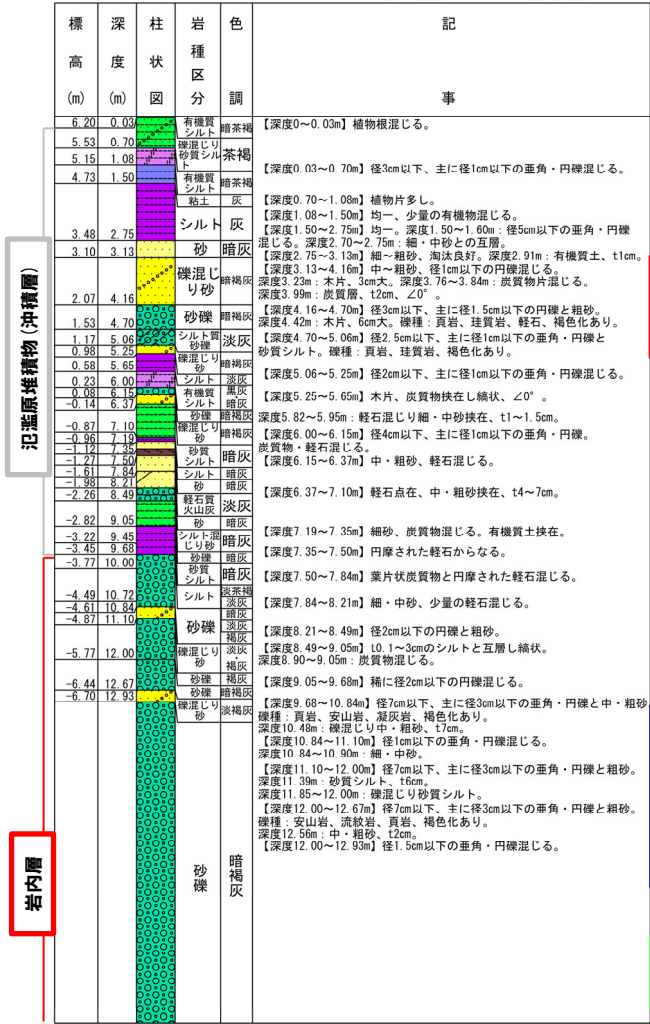
コア写真（深度30～45m）

# 2. 【敷地近傍(Ⅰ)】幌似周辺で実施したボーリング調査結果

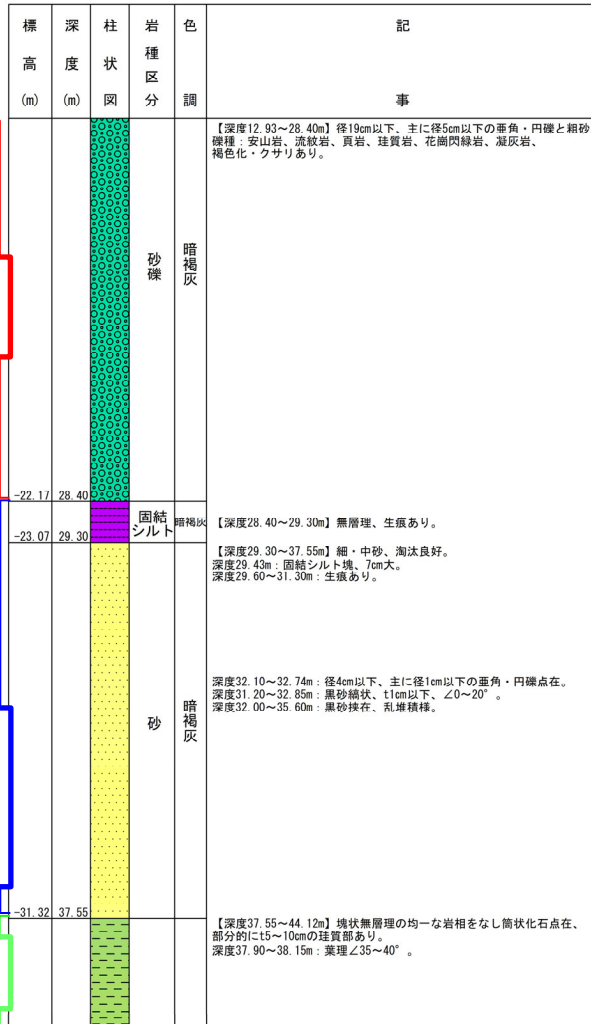
## ⑪-2 C-3地点 (ボーリング柱状図)

一部修正 (H28/2/5審査会合)

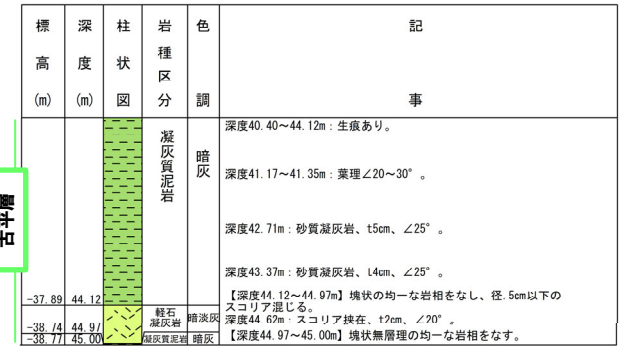
C-3 孔口標高 6.23m 掘進長 45.00m



ボーリング柱状図 (深度0~20m)



ボーリング柱状図 (深度20~40m)



ボーリング柱状図 (深度40~45m)

### 凡例

- 粘土
- シルト
- 有機質シルト
- 砂質シルト
- 礫混じり砂質シルト
- 砂
- シルト混じり砂
- 礫混じり砂
- 軽石質火山灰
- シルト質砂礫
- 砂礫
- 固結シルト
- 凝灰質泥岩
- 軽石凝灰岩

余白

1. 敷地及び敷地近傍の火山噴出物に関する検討 .....	P. 9
2. 【敷地近傍(Ⅰ)】幌似周辺で実施したボーリング調査結果 .....	P. 75
<b>3. 【敷地近傍(Ⅰ)】老古美周辺において確認されるニセコ火山噴出物(火砕流堆積物).....</b>	<b>P.121</b>
4. 【敷地近傍(Ⅱ)】岩内平野西部で実施したボーリング調査結果 .....	P.171
5. 【敷地近傍(Ⅲ)】支笏湖周辺で実施したボーリング調査結果 .....	P.225
6. 【敷地近傍(Ⅳ)】支笏湖周辺で実施したボーリング調査結果 .....	P.429
7. 支笏火砕流の噴出年代に関する検討 .....	P.497
8. ワイスホルム火砕流の噴出年代に関する検討 .....	P.517
参考文献 .....	P.526

・本章の説明内容

【まとめ】

- ① 岩石記載的特徴
- ②-1 噴出年代(給源の推定)
- ②-2 噴出年代(H29岩内-5及びH29岩内-1ボーリング調査)
- ②-3 噴出年代(老古美地点②)
- ③-1 層厚(給源からの距離と層厚の関係)
- ③-2 層厚(地質調査結果)